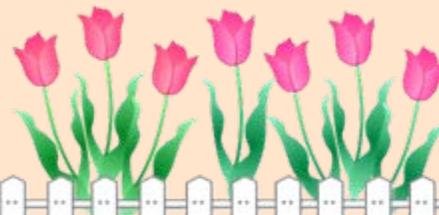


恵庭市男女共同参画基本計画 実施事業概要書

平成21年度事業のあらまし



平成22年8月



凡例

基本目標 Ⅲ 男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題 1 安心して子育てができる環境整備 ①・②

恵庭市で定める「男女共同参画基本計画」の基本目標を達成するための重点課題に応じた施策です。

男女が共に職業と家庭を両立し、安心して子育てができるように支援します。

(2) 子育て支援センターは、親子が自由に遊びながら、子どもも保護者も他の親子と交流したり情報交換したりする場を設けています。育児相談もお受けしています。 —保健福祉部 子ども家庭課

平成22年4月より、3か所に増設

(子育て支援センター柏陽、恵み野、島松)。

<8,298,185円> <利用延べ人数 : 保護者2,842人、子ども3,498人>

<ご相談件数 : 467件>

その施策を担当している課です。施設の電話番号がある場合は「お問合せ」として掲載しています。

平成21年度の決算額です。

平成21年度の実績データです。

- ・のびのびパーク (平成22年5月より開催)
子育て支援センター島松で開催。戸外での遊びや活動体験を通して、親子や家族、地域のかた・親同士など様々な人たちがコミュニケーションをとりながら、子育てを楽しみます。
- ・あそびの広場 ママのしゃべり場
同じくらいの年齢の子が集まって親子で遊んだりおしゃべりをしたりします。保育士が育児相談をお受けしています。
<利用延べ人数 : 保護者46人、子ども74人>
- ・みんなのひろば
市内10箇所で開催。親子で自由に遊びながら他の親子と交流したり情報交換したり。気軽に育児相談の場としてご利用いただいています。
<利用延べ人数 : 保護者3,307人、子ども3,946人>
<ご相談件数 : 292件>
- ・子育てセミナー
専門分野のかたが講師となり、歯の健康・栄養・遊びや発達についての講習会を開きます。
<回数 : 10件、参加人数 : 156人>

お問合せ : 子育て支援センター柏陽 33-0037



基本目標 I 男女の人権の尊重

- 重点課題 1 女性に対する差別や暴力の根絶
2 男女共同参画の視点に立った意識づくり ①

女性に対する差別や暴力をなくすために、人権尊重、男女共同参画の視点に立った啓発活動を行います。

(1) 啓発活動 一 総務部 総務課

- ・ 恵庭市広報（全戸配布）に特集掲載（「見直そう男女共同参画」「あなたの身近にしのびよる配偶者・パートナーからの暴力」）
- ・ 情報紙「さくらんぼ」の発行（年2回）と市ホームページへの掲載
- ・ 「恵庭市男女共同参画基本計画実施事業概要書」の市ホームページへの掲載
- ・ 「女性への暴力をなくする運動」、法務局による「女性の人権ホットライン（電話相談の開設）」、（財）北海道女性協会による「女性のための法律相談」など女性の権利に関するパンフレットの設置・ポスターの配布と掲示
- ・ 「男女共同参画週間」・・・内閣府啓発ポスターの掲示とFMパンプキンで「男女共同参画を考える」放送
- ・ 啓発ポケットティッシュの配布・・・「健康まつり」会場及び市民課・子ども家庭課窓口で随時配布
- ・ 「男女共同参画講座」・・・職員研修及び子育てセミナーで、男女が共に協力しあうための気持ちの伝え方とコミュニケーションの大切さについて講演。
- ・ 「女性のための相談窓口ご案内」パンフレットを作成、市内9施設13か所に設置・配布

基本目標 I 男女の人権の尊重

- 重点課題 1 女性に対する差別や暴力の根絶
2 男女共同参画の視点に立った意識づくり ②

相談体制を充実させ、女性の人権を守ります。

(2) 各種相談体制の充実

・人権相談・行政相談 一企画振興部 広報広聴課

・弁護士 法律相談・法律全般の相談。一企画振興部 広報広聴課

毎月第一・第四火曜日の午後及び毎月第三火曜日の夜間に開催。 <利用件数 36回 255人>

・司法書士・法律相談民事一般の相談。一企画振興部 広報広聴課

偶数月第二水曜日に開催。 <利用件数 4回 13人>

<人権相談・行政相談・法律相談事業の決算額 1,414,419円>

・母子・寡婦・DV相談・生活自立、就労、子育てについて 一子ども未来室 子ども家庭課

項目	住宅、医療・健康、家庭紛争など生活一般について	養育、教育など児童について	母子福祉資金、寡婦福祉基金、児童扶養手当など経済的支援・生活援助について	その他	合計
件数	610	178	873	7	1,668

基本目標 Ⅱ 男女が平等に社会参加するための環境づくり
重点課題 1 政策・方針決定過程等への女性の参画拡大

男女が平等な社会をつくるために、女性が公の場で発言し、社会参加できる環境づくりをすすめます。

- (1) 協議会・審議会などに参加する女性の割合目標を40%としています。 —総務部 総務課
- ・市の審議会活動の情報をホームページに掲載します。市民の皆様が審議会の内容に関心を持ち、委員の公募に応募いただけるよう努めます。
 - ・「女性リーダー制度」を「女性人材登録」制度に改正したことにより、より多くの女性の登録を募って審議会・協議会等への参加を促します。

<平成21年度末 協議会等の数：71 女性登用率 32.19%>

<前年度：協議会等の数：67 女性登用率：31.99%>

<平成21年度 女性のいない協議会等の数 11委員会> <前年度：11委員会>

- (2) 市役所女性職員の登用をすすめます。 —総務部 職員課

- ・女性職員の能力をさらに活用して積極的な登用と意識改革をすすめます。
- ・プロジェクトチームへの参加や昇任試験への出願を奨励します。

<昇任試験 女性職員対象者 課長職：17名 主査職：75名

申告書提出者 主査職：2名

昇任者 課長職：1名 主査職：1名>



基本目標 II 男女が平等に社会参加するための環境づくり

重点課題 2 就業における男女共同参画を促進するための環境づくり ① - 1

男女が平等に能力を発揮し、評価され、共に子育てしながら働きやすい環境をつくとともに、就業機会の拡大をめざします。

(1) 男女の均等な雇用機会の確保と働きやすい就労環境づくりをめざします。

- ・市内事業所の労働状況の調査を行っています（平成20年・22年の隔年実施）。一経済部 商業労政課 調査結果報告書を各事業所に配布し、各企業における労働環境・福利厚生の上ををめざしています。
- ・男女雇用機会均等法、改正育児・介護休業法の情報を市のホームページに掲載し、事業者と労働者双方への啓発を行います。一経済部 商業労政課
- ・恵庭市職員に育児休業等に関する制度（改正条例を平成22年6月30日に施行）の周知を行い、特に男性職員の育児休業取得促進を図ります。一総務部 職員課

1 家族みんなが経営に参画

- 家族みんなが「家族経営協定」に賛同し、経営に主体的に参加し、農業経営を盛り上げていこうと努力することが大切です。
- 女性農業者や後継者も経営に参画し、家族みんなで経営方針の協議や収益の分配、就業条件などを取り決める「パートナーシップ経営」を確立しましょう。

2 女性農業者の地位確立

- 女性の農業者は、事業計画を決定に参加するとともに、「1日の農作業時間」の目安や休日確保などを取り決めます。
- 労働条件や事業継承の継承者の視野を広く確保し、関係に働きかけましょう。

3 後継者の自立を応援

- 農業経営の円滑な世代交代を実現するため、農業経営への継承候補の候補や方法を明確にするために、中・長期的な経営計画を立てましょう。
- 農業経営者が経営部門を導入する場合は、経営継承、経営継承者の育成、広い応用をしましょう。

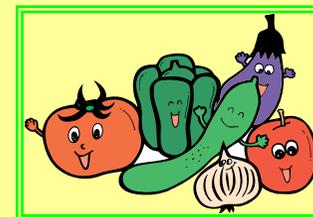
4 法人経営の確立を支援

- 農業経営の法人化が推進されていますが、まずは「事業計画書」を編んで、農業に必要とする他の経営や事業の活性化を図ることが必要です。
- 事業計画書作成に当たっては、地域の農業関係機関や専門家と相談を促す支援を実施するため、引き続き「事業計画書」を作成しましょう。

- ・農家での家族経営協定の普及を図ります。一農業委員会
家族経営協定は、経営方針や営農計画、役割分担、収益の分配、就業条件や将来の経営移譲などを家族間で十分に話し合い、家族みんなが農業経営を築いていくものです。

<家族経営協定 平成21年度：0件>

<家族経営協定 累計：10件>



基本目標 II 男女が平等に社会参加するための環境づくり

重点課題 2 就業における男女共同参画を促進するための環境づくり ①-2

男女が平等に能力を発揮し、評価され、共に子育てしながら働きやすい環境をつくとともに、就業機会の拡大をめざします。

(2) 職場と家庭が両立しやすい環境を整備します。

- ・ 保育園での延長保育・すずらん保育園（平成22年度より）、こすもす保育園、すみれ保育園、さくら保育園で19:15まで延長。

— 子ども未来室 保育課

<利用実人数：906人、利用日数：820日>

- ・ 保育園での一時保育・週3日を限度として1ヶ月12日まですみれ保育園で受け入れます。

— 子ども未来室 保育課

<利用実人数：285人、利用日数：284日>

- ・ 学童クラブ～仕事などで日中保護者が家庭にいない子どもたちを対象に開いています。

対象：小学校1年生～3年生の児童（特別支援学級在籍児は6年生まで） — 子ども未来室 子ども家庭課

学校の授業終了後（下校時～18時）と長期休業中（8時30分～18時）、子どもたちに生活の場を提供。 **<54,304,191円>** **<開設箇所：12箇所、利用人数：425人、うち障がい児9人>**

- ・ ファミリー・サポート・センターでは、育児のお手伝いをしたい方と育児の手助けをしてほしい方が会員となり、会員間で育児の相互援助活動の支援をしています。 — 子ども未来室 子ども家庭課

例えば保育所・幼稚園・学童クラブのお迎え、急な残業、急用、ちょっとしたリフレッシュなどの際に利用されています。事務局は子育て支援センター（すみれ保育園に併設）内にあり、アドバイザーが相互援助活動の支援・調整を行っています。 **<3,403,930円>**

お問合せ：ファミリー・サポート・センター 33-2111

<依頼会員：490人、協力会員：71人、両方会員：87人、利用件数：1,043件>

基本目標 II 男女が平等に社会参加するための環境づくり

重点課題 2 就業における男女共同参画を促進するための環境づくり ②

意欲ある女性からの相談に応じて求人・労働に関する諸制度の情報を提供し、就業機会の拡大をめざします。

(3) 就業機会の拡大をめざし、求職相談を受け、求人情報を提供します。

- ・ ジョブガイド恵庭（地域職業相談室）をご利用いただいています。ハローワーク千歳の職員が常駐して仕事の相談や求人データの検索、紹介を行っています。 — 経済部 商業労政課

<ジョブガイド来場利用者延べ人数：23,935人、就職決定者数：615件>

- ・ 恵庭市の労働相談員も常駐し、就職のほか労働全般についての相談業務を行っています。

— 経済部 商業労政課

<恵庭市相談室 相談受付件数：345件>

<4,920,739円>

- ・ 母子家庭自立促進助成事業 — 子ども未来室 子ども家庭課

教育訓練給付講座など就労のために受講する講習会費用を助成します。 **<8,933,280円>**

<理学療法士・作業療法士・保育士など資格取得のための修業費用、パソコン講座・ホームヘルパー講習会受講料など13件を助成。>

- ・ 母子自立支援員が、母子・寡婦の自立のための就労について相談を受けています。

— 子ども未来室 子ども家庭課

<相談受付件数 124件>

基本目標 Ⅲ 男女が平等に安心して暮らせる環境づくり

重点課題 1 安心して子育てができる環境整備 ① - 1

男女が共に職業と家庭を両立し、安心して子育てができるように支援します。

(1) 育児相談や親子同士の交流を行い、不安の軽減・解消をめざします。 一保健福祉部 保健課

お問合せ：保健センター 37-4121

- ・ 子育てほっとダイヤル・育児・健康について電話で相談をお受けしています。
<利用件数：327件>
- ・ 乳幼児すくすく相談・食生活・発育・発達・育児・遊び方についての相談です。(月1回)
<利用人数：285人>
- ・ 母乳育児相談・おっぱいの準備から自然卒乳まで、安心して母乳育児を続けられるように、助産師や保健師が相談をお受けしています。(月1回)
<利用人数：46人>
- ・ 育児教室・子育て中の親子同士が交流しながら、離乳食や予防接種について学びます。
*めばえコース・2~3か月児 **<利用人数：263人>**
*のびのびコース・5~6か月児
- ・ 母子保健来所面接 **<利用件数：108件>**



基本目標 Ⅲ 男女が平等に安心して暮らせる環境づくり

重点課題 1 安心して子育てができる環境整備 ①-2

男女が共に職業と家庭を両立し、安心して子育てができるように支援します。

(2) 子育て支援センターは、親子で自由に遊びながら、子どもも保護者も他の親子と交流したり情報交換したりする場を設けています。育児相談もお受けしています。 — 子ども未来室 子ども家庭課
平成22年4月より、3箇所を増設（子育て支援センター柏陽、恵み野、島松）。

<8,298,185円> <利用延べ人数：保護者 2,842人、子ども 3,498人> <ご相談件数：467件>

・のびのびパーク（平成22年5月より開催）

子育て支援センター島松で開催。戸外での遊びや活動体験を通して、親子や家族、地域の方・親同士など様々な人たちがコミュニケーションをとりながら、子育てを楽しみます。

・あそびのひろば ママのしゃべり場

同じくらいの年齢の子が集まって親子で遊んだりおしゃべりをしたりします。保育士が育児相談をお受けしています。

<利用延べ人数：保護者 46人、子ども 74人>

・みんなのひろば

市内10箇所で開催。親子で自由に遊びながら他の親子と交流したり情報交換したり。気軽に育児相談の場としてご利用いただいています。

<利用延べ人数：保護者 3,307人、子ども 3,946人> <ご相談件数：292件>

・子育てセミナー

専門分野の方が講師となり、歯の健康・栄養・遊びや発達についての講習会を開きます。

<回数：10件、参加人数：156人>

お問合せ：子育て支援センター 33-0037



基本目標 Ⅲ 男女が平等に安心して暮らせる環境づくり

重点課題 1 安心して子育てができる環境整備 ② - 1

安心して子どもを産み育てられるように支援します。

(3) 子どもを産み育てるための助成・支援を行います。

- ・ 特定不妊治療費助成事業一保健福祉部 保健課 **<1,136,980円>**

医療保険が適用されず、高額の治療費がかかる特定不妊治療に要する費用の一部を助成します。

お問合せ：保健センター 37-4121

<助成件数：25件>

- ・ 子育て支援短期利用事業一子ども未来室 子ども家庭課

保護者が病気や出張などで子どもたちの養育が一時的に困難となったときに、児童福祉施設で子どもたちの養育・保護を行います。対象年齢は1歳～18歳未満で、原則7日間以内で利用できます。 **<134,000円>**

<延べ利用者数：5人、延べ利用日数：26日>

- ・ ひとり親家庭等医療費の助成一子ども未来室 子ども家庭課 **<50,749,903円>**

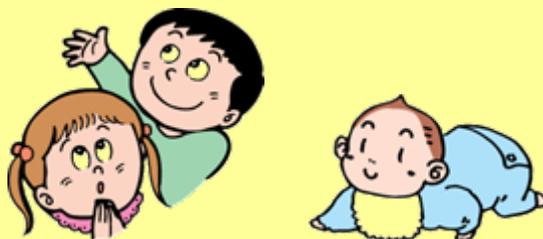
ひとり親家庭（母子家庭・父子家庭）・寡婦家庭の医療費を助成しています。 **<助成件数：20,454件>**

<受給者数 親：770人 子：1,186人>

- ・ ひとり親家庭ホームヘルプサービス一子ども未来室 子ども家庭課

ひとり親家庭（母子家庭・父子家庭）・寡婦が、冠婚葬祭などで一時的に生活援助が必要なときに家庭生活支援員を派遣します。 **<70,370円>**

<利用者数：2人、延べ利用時間：45時間>



基本目標 Ⅲ 男女が平等に安心して暮らせる環境づくり

重点課題 1 安心して子育てができる環境整備 ② - 2

安心して子どもを産み育てられるように支援します。

(4) 子どもを産み育てるための支援充実をめざします。

- ・子ども相談窓口（家庭児童相談） 一 子ども未来室 子ども家庭課 **<4,956,683円>**
子ども（18歳未満）に関するあらゆる相談を、家庭児童相談員が受けています。

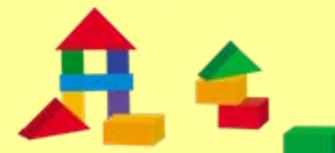
項目	児童虐待など養護相談	保健相談	知的障がい、自閉症等相談など障がい相談	非行相談	不登校など育成相談	その他	合計
件数	109	11	120	1	59	18	318

- ・プレイセンター事業 一 子ども未来室 子ども家庭課
就学前までの子どもと家族のための「家族と一緒に成長する」ことを目指す活動で、親による協働運営、親のための学習会、自由遊びを特徴としています。

<あそびのセッション：196回、学習会：54回、延べ参加人数：16,233人>

また、子育てに役立つ情報を掲載したガイドブックの作成・配布、子育てサークル活動を支援しています。

<子育て応援プロジェクト事業費：18,261,000円>



基本目標 Ⅲ 男女が平等に安心して暮らせる環境づくり

重点課題 2 高齢者や障がい者が生き生きと安心して暮らせる環境の整備 ①

高齢者が他世代とともに、地域で安心して健康に暮らしていける環境をめざします。

(1) 健康に関する正しい知識の普及を図ります。 一保健福祉部 保健課

- ・健康学習会
生活習慣病の予防、栄養・運動による健康増進について学習会を行います。
- ・高齢者はつつ相談
血圧・体脂肪測定や体力測定を行い、高齢者の心身の健康づくりについて相談をお受けしています。
- ・あたまの元気度測定
簡単な検査や質問であたまの元気度を測定し、認知症やうつについての相談をお受けしています。



(2) 地域包括支援センターによる支援 一保健福祉部 介護福祉課

- ・保健師や看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員が、地域の高齢者の様々な相談に対し、総合的に支援を行います。
- ・介護や支援が必要になるおそれのある高齢者に、介護予防サービスの計画を作成します。さらに心身の状態やその変化にあわせて、関係機関との調整を行っています。 <40,229,322円>
- ・市内3か所で開設しています。

恵庭市きた地域包括支援センター <相談者人数：320人、件数：3,366件> お問い合わせ：36-5035
恵庭市ひがし地域包括支援センター <相談者人数：374人、件数：2,259件> お問い合わせ：35-1071
恵庭市みなみ地域包括支援センター <相談者人数：369人、件数：2,914件> お問い合わせ：34-8467

(3) 地域で健康を支えあう必要性を学習しています。 一保健福祉部 保健課

- ・健康づくり推進員活動
各町内会の健康づくり推進員のみなさんが研修・会議をとおして地域で支えあい、生涯健康ですごすことをめざしています。 <推進員数：67人、会議・研修会等開催回数 計3回>

基本目標 Ⅲ 男女が平等に安心して暮らせる環境づくり

重点課題 2 高齢者や障がい者が生き生きと安心して暮らせる環境の整備 ②-1

介護が必要になってもできる限り自宅で自立して暮らしていけるよう、社会全体で介護支援を行います。

(4) 介護にかかわる家族の研修と交流を行います。 一保健福祉部 介護福祉課

・介護教室

高齢の方、介護をしている方が介護方法・介護予防等について学習します。

<15,600円> <開催回数：1回、参加者数：102人>

・家族介護者交流事業

高齢者を介護している家族が、介護の負担から一時的に解放されて介護者相互で交流しながら、元気の回復を図ります。

<31,110円> <定期交流：6回実施、参加者48人 随時交流：3回実施、参加者37人>

(5) 障がいのある方が自立生活を営めるように、サービスの向上に努めます。 一保健福祉部 障がい福祉課

・障がい者総合相談支援事業

お問合せ：e-ふらっと 33-8222

障がい者総合相談支援センター「e-ふらっと」では、障がいのある人や家族の生活、福祉制度等の様々な相談を受け、支援しています。平成19年6月開設。

<22,049,603円> <利用件数：3,765件>

・障がい者居宅援護事業

在宅の重度障がい者のお宅を訪問し、家事援助、身体介護などのホームヘルプサービスを行います。

また、日常介護している方が一時的に介護できなくなった場合に、福祉施設でお世話をするショートステイ事業を行っています。

<32,854,093円> <ホームヘルプ利用人数：23人、利用時間数：8,395時間>

<ショートステイ利用人数：71人、利用日数：723日間>

基本目標 Ⅲ 男女が平等に安心して暮らせる環境づくり

重点課題 2 高齢者や障がい者が生き生きと安心して暮らせる環境の整備 ②-2

介護が必要になってもできる限り自宅で自立して暮らしていけるよう、社会全体で介護支援を行います。

(6) 障がいのある子どもたちの支援を行います。 — 子ども未来室 子ども発達支援センター

お問合せ：子ども発達支援センター 33-3382

- ・ 児童デイサービス・発達に心配のある、または障がいをもつ0歳から小学生までの児童にそれぞれの発達課題に応じた指導を行います。

<12,091,157円> <開設日数：236日、延利用人数：4,913人>

- ・ 障がい学齢児発達支援事業・障がいのある小中高生に休日活動の場を提供します。また、日常的にケアしている家族の一時的な休息と発達支援を行います。

<3,979,608円> <開設日数：241日、延利用人数：905人>



基本目標 Ⅲ 男女が平等に安心して暮らせる環境づくり

重点課題 3 地域社会における男女共同参画の推進

および

基本目標 Ⅳ 男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実

重点課題 3 社会における男女共同参画教育・学習の推進

性別による役割分担意識を是正し、地域社会や職場で男女が共に活動することを促進します。

(1) 町内会や市民活動団体への女性参加を働きかけます。 — 教育部 生涯学習課・総務部 総務課

- ・ 趣味のサークル等の自主的活動の促進

(2) 男女が共に多様な生き方を選択できるための情報提供を行います。講演会・セミナーなどの開催を支援します。

- ・ 「女性団体活動者研修会」(11/25)を恵庭市地域女性連絡会との共催で開催

— 教育部 生涯学習課

内容・「夢から始まる奇跡」

<30,000円> <参加者:41名>

- ・ 女性ネットワークえにわ主催の「女性大会」(11/19)開催を支援 — 総務部 総務課

内容・「ストレスと心の健康」

<77,000円> <参加者:約140名>

(3) 男女が共に多様な生き方を選択できるための情報の提供を行います。 — 総務部 総務課

- ・ 人権・共同参画の啓発ビデオを貸出します。
- ・ 国・道の情報を広報あるいは資料に掲載し、周知に努めます。

基本目標 IV 男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実

重点課題 1 家庭における男女共同参画教育・学習の推進

家庭での男女役割分担意識の解消をめざし、幼児期から家族一人ひとりの人権を認め合うよう啓発を行います。

(1) 男女が平等に共同して家事、育児、介護を担う意識を醸成します。

・両親教室 両親が協力して子育てができるように、赤ちゃんの抱き方、おむつ交換、お風呂などの実習やビデオ視聴を行います。 — 保健福祉部 保健課 **<開催回数：6回 利用人数：244人>**

・父親となる男性に、母子手帳と同時に父子手帳を配布し、育児の心がまえや家族の絆を深めることを促します。

— 子ども未来室 子ども家庭課

<102,099円> <配布：608冊>

・サンデーパパ・お父さんとお子さんが遊ぶ日曜日を設定。お母さんはこの時間、ちょっとだけリフレッシュして、夫婦いっしょの子育てを。毎月1回開催。 **お問合せ：子育て支援センター 33-0037**

— 子ども未来室 子ども家庭課

<78,977円> <利用延べ人数：保護者 150人 子ども 152人>

・中高生乳幼児ふれあい体験事業・中高生が保育園で乳幼児とふれあい、男女が協力して子育てする大切さに関われます。 — 子ども未来室 子ども家庭課 **<参加延べ人数：47人（内男子生徒5人）>**

・家庭教育手帳を配布します。イラスト・漫画が豊富な手帳で楽しみながら子育てについて学べます。

* 乳幼児編 ～母子健康手帳交付時に配布— 保健福祉部 保健課

* 小学生（低学年～中学年）編・小学生（高学年）～中学生編
～1年生・5年生の保護者向け — 文部科学省から各小学校へ配布



基本目標 IV 男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実

重点課題 2 学校における男女共同参画教育・学習の推進

学校は子どもの価値観形成に大きな役割を担っています。より一層男女平等観に立った教育の実践が図られるよう努めます。

- (1) 学校教育における男女共同参画の推進 — 教育部 総務課
- ・教職員を対象として人権尊重、男女共同に関する文書による啓発を行います。
 - ・女性教職員の管理職登用促進を、管内教委連等を通じて北海道教育委員会に対し要望しています。
 - ・昇格要件を満たす女性教諭に出願を促します。
- (2) 学校で男女平等観に立った教育に努めます。 — 教育部 総務課・教育指導室
- ・男女が共同して家庭を築いていくという意識を育てる指導を図ります。
 - * 道徳教育～副読本や「心のノート」の活用
 - * 性教育～保健分野の学習を生かし、各学年の発達段階に応じた身体機能の発達や生殖機能の成熟についての指導をすすめます。
 - * 中学校「技術・家庭」～男女共に同じ内容を学習します。
 - ・人権を尊重し、共に生きる意識を育てます。
 - * CAP教育プログラム事業～いじめを含めた様々な暴力から「自分を守る」ための教育を行います。
 - * 社会科副読本に「恵庭市の男女共同参画」を掲載。解説を市ホームページに掲載。



基本目標 V 生涯にわたる健康の支援

- 重点課題 1 「性と生殖に関する健康と権利」(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)の普及
2 女性のライフサイクルに応じた健康づくりの推進 ①

妊娠・出産期に心身共に健康にすごせるよう、意識の啓発と支援に努めます。

(1) 「性と生殖に関する健康と権利」に関する理解と認識を深め、妊娠や出産を主体的に選択できるように、普及啓発に努めます。

- ・性教育など思春期の保健について、学校や地域で出前講座を行います。 一保健福祉部 保健課

(2) 妊娠・出産における健康づくりを支援し、知識や情報の提供と相談の体制を充実させます。

一保健福祉部 保健課

 **お問合せ：保健センター 37-4121** 

- ・母子手帳を交付し、妊婦教室を開催します。

<交付件数：611人>

体操や調理実習、母乳育児に向けた自己ケア方法を学び、妊娠～産褥期を快適に生活できることをめざします。また子育て中の親子と交流し、妊娠や出産準備の参考にします。相談もお受けします。

<回数：3回×6コース、利用人数：357人>

- ・こんにちは赤ちゃん訪問・出産後4か月までの赤ちゃんのいる家庭を保健師・看護師が訪問し、出産後の体調と育児について相談をお受けし、赤ちゃんの成長を家族の方と一緒に確認します。

<訪問件数：423件>

- ・養育支援家庭訪問・母子に心配な所見がある場合に訪問しています。

<訪問件数：46件>



基本目標 V 生涯にわたる健康の支援

重点課題 2 女性のライフサイクルに応じた健康づくりの推進 ②

成人から高齢期においても心身共に健康にすごせるよう、意識の啓発と支援に努めます。

(3) 成人・高齢期を健康にすごせるよう支援します。

— 保健福祉部 保健課

- ・ 女性特有がん検診推進事業（21年度より実施）
一定の年齢に達した女性に子宮頸がん・乳がん検診の健診料金が無料になるクーポン券と健診手帳を送付しています。

<10,914,452円>

<助成人数：子宮がん頸部検診 531人 乳がん健診 助成人数：623人>

- ・ 健康診査で生活習慣病の早期発見・治療を促します。
- ・ 生活習慣病の予防と健康づくりのため、健康増進教室を開催しています。

<26,760,391円>

<570,778円>

* メタバ撃退講座～栄養講話と調理実習

<開催回数：4回×2コース 参加延人数：51人>

* ウォーキングの普及・啓発

ウォーキング体験会
ウォーキング講習会

<開催回数：6回 参加延人数：249人>

<開催回数：4回 参加延人数：121人>

* さわやかウォーク

<開催回数：1回 参加人数：82人>



基本目標 VI 男女共同参画の視点に基づいた国際交流・協力の推進

重点課題 1 国際交流と国際協力への参画推進

外国の人々と文化・習慣の違いを超えて交流・協力をすすめます。

(1) 「恵庭市国際化の指針」に基づいて、海外との交流の中で市民の国際理解を深める活動を展開しました。 —企画振興部 企画調整課

- ・ 国際交流推進のための人材育成をめざし、職員を（財）自治体国際化協会に派遣しました。
- ・ 姉妹都市であるニュージーランドのティマル市から留学生が来恵し、恵庭市からは中高生3名が派遣され、市で助成を行いました。
また、ティマル市で開催の「ローズフェスティバル」に視察団を派遣しました。
- ・ JETプログラム（総務省・外務省・文部科学省及び（財）自治体国際化協会の協力による語学指導を行う外国青年招致事業）により2名のALT（外国語指導助手）が、市内小中学校の英語授業で助手として活動しています。
- ・ （財）自治体国際化協会による助成を受け、多文化ディスクジョッキー事業（22年度）として、恵庭市地域FM放送で外国人DJによる番組を放送しています。
市内居住の外国人同士のネットワークを構築し、相互情報交換を促すことで日本社会への理解を進め、地域の一員として生活できるよう支援します。



基本目標 VII 推進体制の確立

- 重点課題
- 1 庁内推進体制の強化
 - 2 推進管理体制の確立
 - 3 市民との連携と協力

男女共同参画を推進する体制を整備し、市民のみなさんと共に歩みます。

(1) 庁内の推進体制を強化し、施策の検証を行います。 ー 全庁

- ・ 市役所全庁を網羅した推進本部及び実行組織（幹事会）により、施策を検証します。

(2) 市民との連携と協力を努めます。

- ・ 幹事会が検証した施策を男女共同参画審議会が市民の視点で再検証します。その内容を再度幹事会に返し、施策の修正と前進に努めます。

